

一般社団法人 関西常磐津協会 機関誌

第 46 号

〒542-0072 大阪市中央区高津 2-8-10 末広ビル 502 号室
Tel(06)6214-0753 Fax(06)6214-0755



関西常磐津協会 設立七十五周年記念演奏会

後援：大阪府
大阪市

助成：芸術文化振興基金・邦楽振興基金
大阪府芸術文化振興補助金

於：国立文楽劇場
日時：平成28年11月27日(日)

御挨拶

一般社団法人 関西常磐津協会
理事長 常磐津 都瓦蔵



皆様にはご健勝にて、酉年の良き新年をお迎えることと、お喜び申し上げます。

昨秋は当協会始まって以来の規模で国立文楽劇場に於いて「設立七十五周年記念演奏会」を開催いたしました。

昨年は常磐津節が世に出て二七〇年という大きな節目でもあり、当日の番組には常磐津協会会長である十七代家元常磐津文字太夫様の祝詞を頂戴し、また日本舞踊協会関西支部皆様のご協力のお陰で最後まで賑やかに盛大な会を催すことができました。

これも偏に正会員、準会員、賛助会員皆様のご和の結集であり、大勢のご来場者様の温かいご声援は、今後の協会にとりまして、明るい展望が開けたようで、会員の心に何時までも残ることと思えます。

なお、本年も引き続き、協会の大切な仕事であります、先人の常磐津塚法要、総会、第七十七回公演会、ときわづカルチャー、年三回の新人育成研修発表会、月一回の理事会、その他の行事に取り組んで参りますので、何卒、本年も皆様のご理解とご協力を戴きますようお願いを致し、皆様のご多幸と益々のご繁栄をお祈りし、御挨拶とさせていただきます。



▲ 舞踊家7名のご賛助により、「永寿松竹梅」、「松の名所」、「子宝三番叟」を舞踊曲として上演。華を添えていただきました。

15時頃 「松の名所」 立方:花柳芳一様、花柳禮次郎様



▲ 「待ちました!」
大ベテランの客分の浄瑠璃が舞台を引き締めます。
15時半頃 「戻橋」 杉巴太夫(準会員)ほか



▲ 12時半頃 女流正会員は「お夏狂乱」に取り組みました。
紅葉と地蔵を配した舞台装置。上巻を美佐季・半中ほか(写真)、下巻を 三都由紀・三都貴ほか



▲ 10時頃 開演前、下合わせの舞台裏。正会員男女が全員出演する「三社祭礼の段」(1頁写真)で、セリ上りのタイミング、後段の高さを念入りに調整。



▲ 17時頃 「お光物狂」小由太夫・綱男 ほか

男性正会員は「初恋路千種濡事(土手場、お光物狂)」、「三世相錦繡文章 夢醒め」に取り組みました。「土手場」は2挺5枚で欣勢太夫・小欣矢ほか、「夢醒め」は2挺4枚で一佐太夫・都岳蔵ほか



▲ 20時頃 「お手を拝借、ヨォ」
「子宝三番叟」を舞い納めた、若柳壽延様・若柳吉蔵様を交えて、楽屋廊下で、めでたく締めました。

設立七十五周年記念演奏会 フォトギャラリー

平成28年11月27日(日) 国立文楽劇場



▲ お馴染み、桂九雀様による幕間の名解説!
今回は楽屋と幕前30メートルを18回往復。



▲ 「いらっしやいませ」
ロビーも大勢のお客様で賑わいました。



▲ 「おかげさまで七十五周年」
15時頃 理事長よりご挨拶。



◀ 14時半頃 都史社中「勢獅子」開幕前
「皆さん、三の糸をよく合わせて」
大師匠の厳しいチェック。賛助会員6名、準会員4名、正会員1名に出囃子が加わり、前半を賑々しく締めくくりました。

出演者一覧

全21演目のタイトルは、本誌第45号1頁に掲載しました。

三都秀
三都由紀
豊後
半中

〈正会員〉

常磐津
都章
都智光
都陽
都養香
一佐太夫
一男太夫
欣勢太夫
小由太夫
三賀太夫
都代太夫
巴松太夫
巴瑠幸太夫
三代太夫
若音太夫

〈準会員〉

常磐津
都章
都智光
都陽
都養香
杉巴太夫
都絵子
都智光
都陽
都養香

〈賛助出演〉

市真芽
かず美
久加代
久鈴
久ろく
フデ哉
光菜
もみ寿
もみ蝶
もみ幸
花柳勲磨
花柳寛十郎
花柳小三郎
花柳禮次郎
花柳芳一
若柳吉蔵
若柳壽延
囃子
藤舎呂浩連中

〈賛助会員〉

遠藤 肇
黒田 望
日下 薫
笹部美穂
辻村敦子
都木友子
富田礼子
富永美佐恵
長谷川裕子
畠 美希
増井達志
向平友希
先斗町
市菊
市兆
市穂
市福
三都貴
市真芽
久加代
久鈴
久ろく
フデ哉
光菜
もみ寿
もみ蝶
もみ幸
花柳勲磨
花柳寛十郎
花柳小三郎
花柳禮次郎
花柳芳一
若柳吉蔵
若柳壽延
囃子
藤舎呂浩連中
ご案内
桂 九雀
狂言方
三上繁二

協会だより

活動記録（平成28年後期）

協会

◆関西常磐津協会七十五周年演奏会
平成28年11月27日(日)午前11時〜
大阪・国立文楽劇場
1〜3面をご覧ください。

◆重要無形文化財常磐津節 第2回伝承
事業成果発表会(常磐津節保存会主催)
平成29年2月2日(木)午後2時より
京都芸術センター講堂
「三保の松」浄 都代太夫・若音太夫・一男
太夫・三都史・三之祐。
「三世相錦繡文章 十万億土」浄 一佐太
夫・都代太夫・若音太夫・一男太夫・三都
崑蔵・都史・三之祐。
会長の常磐津文字太夫御家元の挨拶、竹
内道敬氏の解説。

◆ときわづカルチャー一期生
平成29年3月まで。協会事務所にて講習。
担当講師は綱男理事。

会員

◆第24回常磐津都崑蔵研究会
平成28年10月27日(木)18時〜
紀尾井小ホール
文化庁芸術祭参加公演
「假名手本忠臣蔵 八段目 本蔵下屋敷(上・
下)」
浄瑠璃・初勢太夫、仲重太夫、和英太夫、
松希太夫、千寿太夫、三味線・都崑蔵、都史

◆可児常磐津教室巴瑠の会おさらい会
平成29年1月21日(土)13時〜
岐阜県可児市文化創造センター演劇ロフト
後援・(公財)可児市文化芸術振興財団
講師・巴瑠幸太夫
賛助出演・三都貴、若音太夫

これから（平成29年前期）

協会

◆第2回常磐津研修発表会
平成29年3月29日(水)午後2時〜
大阪市立中央会館
出演・亜香音、三賀太夫、三之祐、巴松太
夫、二代太夫、若音太夫
賛助出演・都代太夫

◆ときわづカルチャー二期生
平成29年4月より31年3月まで全50回。
協会事務所にて講習。担当講師は綱男理事。

常磐津塚法要

平成29年4月4日(火)正午より読経
大阪・寂光寺(江口の君堂)
当協会および常磐津節のために尽力された
先人方の業績を偲び顕彰します。

第5回定時社員総会

平成29年6月(予定)

第77回常磐津節公演会

平成29年9月30日(土)
国立文楽劇場小ホール

お祝い

表彰

常磐津美佐季 師

昨年12月に、平成28年度文化庁長官表彰
を受けられました。誠におめでとうござ
います。

表彰理由・永年にわたり、常磐津節演奏
家として活躍するとともに、後進の育成
にも努め、重要無形文化財「常磐津節」の
保存・伝承に寄与し、我が国の文化財保
護に多大な貢献をしている。



会員異動

入会

準会員

(都崑蔵社中)

常磐津 都千枝 さとちえ

常磐津 都智光 とちこう

(都史社中)

常磐津 都章 さとあき

常磐津 都箒 さとこう

常磐津 都里江 さとりえ

常磐津 都蓉香 とよか

(巴瑠幸太夫社中)

常磐津 杉巴太夫 (再入会)

賛助会員

(二佐太夫社中)

鈴木 青子

退会

準会員

常磐津 小添 (小欣矢社中)

賛助会員

小山 順子 (小欣矢社中)
行待 佳平 (小由太夫社中)

(都史社中)

笹部 美穂

辻村 敦子

都木 友子

富田 礼子

富永 美佐恵

長谷川 裕子

編集後記

七十五周年記念演奏会では、たくさんの方
さまにお世話になりました。どうもありがと
うございました！
(都代太夫・若音太夫)

ときわづカルチャー 二期生募集中!

- 内容** 浄瑠璃と三味線の実技
- 場所** 協会事務所(国立文楽劇場東隣)
- 期間** 平成29年4月より31年3月
- 時間帯** 要相談(月2〜3回)
- 受講料** 無料

お申し込み・お問い合わせは
常磐津綱男(担当理事)まで

TEL:06-6214-0753 FAX:06-6214-0755
Eメール:info@kansai-tokiwazu.com

